



マカオ政府観光局 ニュースリリース

Macao Government Tourism Office-Japan | News Release

関係者各位

2021年9月6日

マカオ 現地最新情報

マカオ政府観光局(本局)と新聞局は共同で、現地の防疫対策動画を発表しました。動画内では、マカオで最初の新型コロナウイルス感染者が確認されてから500日以上経った「今のマカオ」を紹介。防疫対策を講じ市民の安全を維持しながら、渡航規制を段階的に緩和しビジネス・スポーツイベントがほぼ通常どおりに実施している様子を映し出しています。動画はこちら(<https://www.youtube.com/watch?v=LH3xMK5DeVw>)をご覧ください。また昨年制作した動画ではホテルや公共施設などで実施されている対策の事例を紹介しています。こちら(<https://www.youtube.com/watch?v=fC-UcG9gYh4>)もあわせてご覧ください。(いずれも字幕をオンにすると日本語字幕が表示されます。)



マカオ現地で最初に新型コロナウイルス感染者が確認されたのは春節(旧正月)を目前に控えた2020年1月でした。いち早く安全対策と市民への安定したマスク供給策を確立し、同年3月末から2021年8月初旬までは域内感染者ゼロを維持してきました。先月、およそ500日ぶりに域内感染者かつ初のデルタ株が確認されると、マカオ政府は全市民に対し一斉のPCR検査を実施。その結果、全員の陰性が確認され、その後も域内での新規感染者は報告されていません。これを機に現地では一層緊張感が高まり、官民一体となって引き続き安全対策を厳守しています。

マカオ現地 各種最新情報は下記の通りです

<新型コロナウイルス感染者情報>

累計感染者数	63名
現在入院中	2名
退院者	61名
死者	0名
ワクチン完全摂取率	41.0%

(2021年9月5日現在 マカオ特別行政区政府新型コロナウイルス応変調整センター)

<現地入境規制>

現在海外からの、または中国本土・香港・台湾在住の外国籍の方はマカオ入境規制の対象となっています。最新の入境規制情報はマカオ政府観光局公式ウェブサイト(<http://www.macaotourism.jp/rep/topics.php>)をご覧ください。

<現地プロダクトアップデート情報>

現地では、引き続き防疫対策をとりながら市民の日常生活が守られ、インフラ整備、イベント開催、新規プロダクト開発などがなされています。今年1月から8月までの最新情報をまとめました。詳しくは別紙をご覧ください。

本件に関するお問い合わせは以下まで

マカオ政府観光局 市村・斉藤

Tel: 03-5275-2537 Fax: 03-5275-2535 Email: macaopr@milepost.co.jp

マカオ政府観光局公式 SNS で現地最新情報を発信中



マカオ プロダクトアップデート

8月までの出来事をハイライトでご紹介します

マカオ政府観光局
公式マスコット
マックマック



January

February

March

April



新規統合型リゾート「ザ・ロンドナー・マカオ」開業 2月

ベネチア、パリに続き今度はロンドンがマカオに出現。従来のサンズ・コタイセントラルがリブランドされ「ザ・ロンドナー・マカオ」として一部開業しました。旧ホリデイ・イン・コタイセントラルが全室スイートルームの「ザ・ロンドナー・ホテル」になりました。

今後はグローバルアンバサダーを務めるデビッド・ベッカム氏プロデュースのスイートルームも登場します。



世界的アワード、相次いで発表。 4年連続「5つ星レストラン・スパ世界最多都市」に

恒例のミシュラン・ガイド香港マカオ（1月）、フォーブス・トラベルガイド（2月）、アジアのベストレストラン50（3月）が発表。フォーブス・トラベルガイドでマカオは4年連続で5つ星レストランとスパ世界最多都市に輝きました。今年度版からミシュラン・ガイドはサステナブルなレストランに与える指標「グリーンスター」を新設。またアジアのベストレストラン50はコロナ禍に負けず食文化を継承し続ける店に贈る「Essence of Asia」を設け、マカオからは3軒のレストランがノミネートされました。そのうち「IFTマカオ エデュケーショナルレストラン」は見事ダブル受賞を果たしました。

May

June

July

August



マカオ・パンダ館 入館料無料に 5月

生態系の豊かさを広く知ってもらうため、今年5月からマカオ・パンダ館の入館料が無料になりました。

6月には双子のパンダ健健・康康は5歳の誕生日を迎えました。

「マカオ・グランプリ博物館」 リニューアル・オープン

6月

4年間の改装工事を経て、正式開業を迎えたマカオ・グランプリ博物館。のべ床面積が6倍に拡張され、新規展示がさらに充実しています。

故アイルトン・セナ選手やミハエル・シューマッハ選手など日本でも有名な選手ゆかりの品や、バーチャルレースなど体験型の展示がラインナップしました。

新規統合型リゾート（IR）続々登場 7月、8月

マカオをテーマにしたIR「リスボエタ・マカオ」のアトラクション部分が7月開業。ジップラインや屋内スカイダイビングなどがマカオ初登場。今後もロクシタンやLINEフレンズのテーマホテルも開業予定。

8月には「グランド・リスボア・パレス」も部分開業。グランド・リスボア・パレス・ホテル(写真)に加え、カール・ラガーフェルドホテルとパラッツォ・ヴェルサーチ2軒のデザイナーホテルが開業を控えています。

「アート・マカオ」開幕 7月～10月

2019年初開催のアートの祭典「アート・マカオ」が戻ってきました。今回からは国際アートビエンナーレとして開催。10月までマカオの街全体がアート・ギャラリーになります。コロナ禍での開催となる今回のテーマは「グローバリゼーションの進退」。世界的パンデミックがもたらしたグローバリゼーションの変化に、アートを通して迫ります。